

令和4年12月議会定例会議案

市長提案理由説明要旨

(令和4年12月5日提出)

新潟市

このたびの新潟市長選挙において、多くの皆さまからご支援をいただき、引き続き市政のかじ取りという重責を担わせていただくことになりました。

2 期目のスタートに当たり、決意を新たに、新潟市の明るい未来を切りひらいていくため、新潟市政の発展に力を尽くしてまいりますので、市議会の皆様におかれましては、今後ともよろしくお願い申し上げます。

本日は、本議会の提案理由説明の機会に、これからの 4 年間、私が市政運営にあたる上での基本的な考え方について、申し述べさせていただきます。

今回の選挙戦を通じて私は、新潟を活力ある日本海側の拠点都市に発展させ、多くの皆さまから「新潟で育ってよかった」「新潟で暮らしてよかった」「新潟で働いてよかった」と思っていただけの新潟を市民の皆さまと一緒に創りだしたいと訴えました。そのためにやり遂げなければならないことを 3 つの決意として約束させていただきました。

1 つ目は「新型コロナに打ち勝ち「平穏な日常」を取り戻す」ことです。

新型コロナウイルスの発生からもうすぐ3年が経とうとしていますが、依然として、市民生活をはじめ経済、教育、観光など様々な面で影響を及ぼし続けています。

現在は第8波に入り、新規感染者数が再び増加傾向にあります。医療への負荷が確実に高まってきていることから、県と連携し警戒を続けてまいります。

しかし、こうした状況の中でも市政の停滞は決して許されません。

これまでの経験で培った知見を生かし、新型コロナウイルスとうまく付き合いながら、一日も早く平穏な日常を取り戻すべく、本市の社会経済の回復に向け、努力をしなければならぬと考えています。

2 つ目は「行財政改革を継続し持続可能なまちを実現する」ことです。

持続可能な新潟を築くためには、これまで取り組んできた行財政改革の手を緩めることはできません。災害にしっかりと備え、市民の皆さまの豊かな生活への投資を可能とする財政基盤づくりを進め、市政をさらに充実させていき

ます。

そして3つ目は「新潟の明るい未来を切りひらく」ことです。

今日のように不確実性が増す状況だからこそ、新潟の明るい未来に向かって、1つ1つ取り組んでいくことが、市民の皆さまの活力につながると私は確信しています。

今後とも人口減少は進み、社会の担い手不足、税収の減少など我々を取り巻く環境は一層厳しさを増していきます。このまま何も手を打たなければ、明るい未来を描くことは決してできません。

新潟の良さは「都市と田園が調和し暮らしやすい」というところにあります。その強みを最大限生かしながら、新潟を活力ある日本海側の拠点都市にしていく。そして、市内8区の歴史や文化、産業などの特色を生かし、8つのカラーで成長し続ける新潟市の実現に取り組んでまいります。

この3つの決意のもと、様々な分野の政策を総動員し、総力戦で市政を前進させていきたいと考えています。

初めに「経済活力の向上と雇用の創出」についてです。

今、新潟市は、新潟駅の約 60 年ぶりのリニューアルなど「まちづくりの大きな転換期」を迎えています。さらに、コロナ禍により働き方や暮らし方が変化し、地方への関心が高まっています。

このタイミングを逃すことなく、「にいがた 2km」を、「緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活気あふれるエリア」へと発展させ、都心エリアの活力、成長エネルギーを全市域に波及させていきます。

デジタル化に対応したオフィス整備を促進し、新たな企業誘致につなげるほか、起業家やスタートアップ企業など、新たなビジネスにチャレンジする皆さまを全力で応援していきます。

また、これまで新潟の経済を力強くけん引してきた中小企業のさらなる成長に向け、デジタル化への支援など各種施策を展開するとともに、市内 8 つの工業用地の整備を通じて企業誘致を進めるなど、新たな雇用に創り出していきます。

次に、「もうかる農業」の実現に向けてです。

本市の農業は強みである一方、高齢化や担い手不足といった厳しい状況に直面しています。

本市の農業をさらに伸ばし、新潟が誇る広大な水田と農業を守り、次世代へしっかりと引き継いでいくため、園芸複合化や農産物の販路拡大などに取り組み、農業が若者に選ばれる産業となり、農業と農村が元気になるため、戦略的に取り組んでいきます。

次に「交流人口の拡大」に向けてです。

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光の分野では、交流人口の早期回復と拡大を目指し、「食や農」といった本市の多彩な魅力を最大限活かしながら、佐渡市をはじめとした他の自治体などと広域的に連携し、誘客を促進していきます。

また、県と連携し、来年5月のG7財務大臣・中央銀行総裁会議を成功させるとともに、開催を通じて、新潟の優れた拠点性とおもてなしの力を国内外にアピールすること

で、交流人口の拡大につなげていきます。

次に「安心して安全なまちづくり」についてです。

近年の自然災害の激甚化、頻発化をふまえ、いつ何時、災害が発生しても、道路や橋りょう、上下水道など市民生活の基盤となるインフラ施設が機能を発揮することができるよう、国や県と連携しながら本市の強靱化を進めます。

また、除雪体制のさらなる強化を図り、降雪期における市民生活の安全度を高めるとともに、数年に一度の災害級の大雪に対しても、市民の皆さまと協力しながらしっかりと備えてまいります。

次に、「本市の拠点性のさらなる向上」についてです。

県内外の多くの方々に利用される新潟駅が、県都である新潟市の玄関口として相応しい「新潟らしさ」を感じられる駅や駅周辺となるよう、着実に取り組んでいきます。

また、市民生活と社会経済活動を支える、新潟中央環状道路、万代島ルート線、新潟西道路といった市内の道路・交通ネットワークの強化に加え、国際港湾、空港、新幹線

などの活用により、人流・物流のさらなる拡大につながるよう、国や県と連携し取り組んでまいります。

次に「子育てしやすいまちづくり」についてです。

市民の皆さまの結婚や出産、子育てへの不安を一つ一つ取り除き、希望する人が安心して子どもを産み、育てられる環境を構築してまいります。そのため、妊産婦医療費助成の所得制限を撤廃するなど、子育て世帯の経済的・精神的負担のさらなる軽減を図るなど、ライフステージに応じた切れ目のない支援を充実させます。

また、「新潟市子ども条例」の趣旨をふまえ、一人一人の子どもに寄り添い、子どもの視点に立つことを基本的な姿勢としながら、積極的に子育て支援施策を推進します。

次に「学力や体力、豊かな心を育む教育の推進」についてです。

長引くコロナ禍による子どもたちの学びや成長へ影響に対し、教育委員会と連携しながらしっかりと対応してまいります。

あわせて、キャリア教育やICTを活用した教育を推進し、子どもたち一人一人が自己実現しようとする力を伸ばすことで、これからの社会をたくましく、自分らしく生き抜く力を育成していきます。

次に「健康で安心して暮らせる地域づくり」についてです。

高齢者の方や障がいがある方など「誰もが暮らしやすい」ことは、本市で暮らす皆さまの安心の基本です。

誰もが、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らし続けられるよう、支えあいの地域づくりとあわせ、医療・介護人材を確保しながら、地域の実情に応じた在宅医療と介護の連携を進めてまいります。

次に、「誰もが便利で暮らしやすい環境づくり」についてです。

市民の皆さまの日常生活の足である、電車やバスなどの公共交通のさらなる充実に向け、駅のバリアフリー化や新駅の設置、新しいバス路線の整備など官民連携により進

めていきます。

また、市民の皆さまから心豊かに、元気に過ごしていただけるよう、文化やスポーツに身近に親しむことのできる機会をさらに創出するとともに、公共施設の再編の動きとあわせ、新潟の県都にふさわしいスポーツ施設のあり方を検討し、本市の文化スポーツのさらなる振興につなげます。

最後に「都市の活力と暮らしの向上の好循環」についてです。

8 区の活力向上に向けて、区の実情に合わせた柔軟かつ自律的な区政運営ができるよう区の権限、財源をさらに強化します。

併せて、各区の特色を生かした民間事業を支援する新たな仕組みを構築し、官民が連携して区の活力向上、さらには市の活力向上につなげていきたいと考えております。

以上、私の基本的な考えを申し述べさせていただきました。「都市と田園が調和し暮らしやすい」という強みを最大限活かし、「都市の活力向上」と「住民福祉の向上」の好循環をつくりだし、新潟の明るい未来を切り拓いていきます。

実現に向け、すぐに取り組めるものについては動き始め、新年度予算に反映させていきたいと考えています。

円滑な市政運営に向け、車の両輪である市議会の皆さまからのご意見を真摯に受けとめ、共に市政運営を行ってきたいと考えていますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。

それでは、引き続き本日提案いたしました議案の概要につきまして、説明を申し上げます。

議案第 80 号から第 88 号は、一般会計ほか 8 会計の補正予算です。主な内容について申し上げます。

まず、新型コロナ・物価高騰対応分として、

産業分野では、市内中小企業のデジタル化による付加価値及び生産性の向上を図る取組みを支援するほか、脱炭素社会における新規事業創出などを促進するため、市内で新たに実証事業に取り組む事業者を支援します。

また、市内中小企業の人材確保と大学生等の市内就労を促進するため、企業の受け入れ態勢の構築を支援するとともに、地方暮らしへの関心の高まりをとらえ、本市への移住・定住促進などを目的とする特別支援金を追加します。

さらに、コンベンション開催補助金の制度拡充を継続し、^マ^イ^ス M I C E 誘致を積極的に推進します。

農業分野では、農地集積・集約化の支援を継続するとともに、「にいがたを贈ろう 農水産物産地直送支援事業」の経費を増額し、更なる消費拡大や需要喚起を図ります。

また、配合飼料価格の高騰により厳しい経営状況にある畜産農家を支援するほか、エネルギー価格高騰などにより大きな影響を受けている新潟ミートプラントの運営継続に向けた支援を行います。

そのほか、就学援助受給世帯へ学用品費として 5 千円を支給することに加え、新 1 年生のための新入学児童生徒学用品費 5 千円を上乗せ支援します。

また、感染拡大に伴う働き方の変化を背景に、増加する男性の育児休業取得者への奨励金の予算を増額します。

さらに、市民の利便性向上に向けて、スマートフォンや

キャッシュレス決済に対応した電子申請システムを導入し、行政手続のオンライン化を推進します。

また、エネルギー価格の高騰を受け、本市施設の指定管理者が支払う光熱費の一部を支援するほか、不足が見込まれる本市管理施設の光熱費を各会計で増額します。

加えて、新型コロナウイルス感染症対策への協力の趣旨でいただいたご寄附を基金に積み立てます。

次に、人件費補正分ですが、

一般会計及び各会計において、人事委員会勧告を踏まえ、若年層の月例給のほか、勤勉手当支給割合の引き上げ改定を行うとともに、過不足を調整させていただくものです。

その他の主な補正分としては、

こどもの遠視や乱視などの屈折異常を早期に発見し、治療に繋げるため、3歳児健診において屈折検査機器を導入するほか、森林環境譲与税活用基金による「松くい虫被害低減緊急対策事業」を行います。

次に、一般議案の概要について、説明いたします。

議案第 89 号は、総合計画特別委員会で議員の皆さまからも議論を重ねていただいた、次期総合計画の基本構想及び基本計画を定めるものであり、

議案第 90 号は、社会情勢の変化を踏まえ、都市計画に関する基本的な方針を改定するものです。

議案第 91 号は、職員の定年の引上げ等に伴い、関連する規定を整備するものであり、

議案第 92 号から第 94 号は、人事委員会の勧告及び報告を踏まえ、俸給表の改定などを行うものです。

議案第 95 号は、小須戸幼稚園の廃止、

議案第 96 号は、中央、豊栄、亀田、新津、白根、坂井輪、西川の各図書館協議会の統合、

議案第 97 号は、山ノ下保育園、大江山保育園及び大山保育園の廃止、

議案第 98 号は、老人デイサービスセンター藤見及び老人デイサービスセンター黒埼荘の廃止に伴い、関連する規定を整備するものです。

議案第 99 号は、南区月潟健康センター及び南区味方健康センターについて、指定管理者による管理を廃止するものであり、

議案第 100 号は、新潟駅高架下交通広場の整備に伴い、関連する規定を整備するものです。

議案第 101 号は、建築物の低炭素化の促進のために誘導すべき基準等の改正に伴い、関連する規定を整備するものであり、

議案第 102 号及び第 103 号は、西蒲区^{やまじま}山島地区及び^{くわやま}桑山地区の^{けいえいたい}経営^{いくせい}体育成基盤整備事業に伴い、^{まち}町・^{あざ}字の区域及び名称を変更するものです。

議案第 104 号は、西蒲区^{まぜあざいそやま}間瀬字磯山地先における埋立について、異存ない旨の意見を述べるものであり、

議案第 105 号は、人事委員会委員に新たに、^{ひらいし}平石 ^{なおき}直樹 氏を選任することについて、議会の同意を得ようとするものです。

議案第 106 号は、来年度の宝くじの発売限度額を定めるものであり、

議案第 107 号から第 122 号は、「旧日本銀行新潟支店長
やくたく
役宅」など 24 施設について、指定管理者の指定を行うもの
です。

次に、市長専決処分について説明します。

議案第 123 号の専決第 3 号は、先月 1 日に専決させてい
ただいた一般会計の補正予算です。

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、
特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し
1 世帯あたり 5 万円を支給します。

これは、議会を招集するいとまがなく、やむをえず専決
処分をさせていただいたものです。

最後の諮問第 2 号は、人権擁護委員の候補者として、

再び、橋本 京子 氏、 津野 香 氏、

齋藤 誓 氏、 二瓶 富美子 氏

田邊 とも子 氏、 渡辺 美弥子 氏

眞島 潤子 氏、 川上 裕子 氏

を推薦することについて、議会にお諮りするものです。

以上、提案いたしました議案について、説明申し上げます。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。